

**綱 領**

- 吾々は、社会正義に立脚した良権を守り、生活の安定と向上をはかる。
- 吾々は、常に暴力と独裁を排し、自由にして明朗なる民主的労働組合としての発展を期す。
- 吾々は、赤十字の民主化と近代化を促進することによって、その人道的任務の達成に寄与する。

# 日本赤新労

平成4年  
1月1日 行  
發 第135号

発行所  
日本赤十字新労働組合連合会  
(日赤新労)  
東京都港区浜松町2-2-14  
K Iビル802  
TEL(03)3433-3028  
発行責任者  
窟岡 博

## 第3回 中央委員会ひらく

### 平成4年度運動方針など審議



第3回中央委員会(12月15日、16日) ▲



▲盛岡日赤有志による「さよなら踊り」



十二月十五日、十六日の両会が始まり、議長に川島環氏

日、平成3年度第三回中央委員会(鳥取日赤)、副議長に杉本莞

会が盛岡市「ボデルニューカリ

ー」にて、全国各アロック

選出の中央委員、単組オブザー

バ等多数参加のものに、盛大

に開催された。

十五日午後二時より中央委員

活動経過報告を含む力強い挨拶

开始了。

会議へ進行した。

まず、青山中央執行委員長の

松田赤、今津日赤へのオルグ活

動報告。

【教養部】

幹部研修会、第六アロック学

習会(今津日赤)報告。

【調査部】

年末一時金、年末始特別出

金の組合員の皆さん、謹

んで新年のお喜びを申し上げ

ます。

昨年は湾岸戦争、ソ連邦の

崩壊など困惑する世界情勢の

中、わが国では

バブルがはじけ

不況風が吹き始めています。赤

ます。

赤十字に働く我々日赤新労

組合員は、社会のニーズに即

応した、そして地域医療に貢

献できる、よりすぐれた赤十

ます。

年頭にあたつて

そのためには、今年は曾さ

んの協力のも

と、全国単組間の交流を深め

組織を充実させると共に、更

に組織拡大に向かって頑張っ

て行きましょう。

そのために、

名古屋第二日赤  
芳組

「師走、そして正月」物質文明が進み季節感に新鮮さを忘れつつあるとは言われていますが、春や秋冬の移り変わりはまだ日本人には大きな力をもち、その季節を表す日本語はまだ我々には健在である。その中で自然の変化を表す「大寒」「小寒」「立春」と「〇〇の日」「〇〇記念日」など、ちるかと言えば休日につながる日のほうが記憶の中では上位を占めるのは、働ききの日本人となってしまっているのかもしない。個人によってその価値観は多少異なっても、健康ほど大切なものはないとと思うが、健康であればあるほどそのことを忘れてしまい、「病気になつて何を知る」ではどうしようもない。

組合活動もそれに似て、可もなく不可も無いとの意識では存続は無に等しい物となる。

一九九二年は昨年より変化の激しい時代となるかもしれない。すべてが順調に進んでいるときに「そうでなくなったら」という逆説のことは余り考えたことがないかもしれないが、又その逆の場合においても不調な情勢続きがなかなか好転しないと考えてしまふと、共に好機を逃してしまうこととなる。変化を感じる、すなわち先を見る（読む）すべての事項についてある。

我々組合員がそれぞれの仕事の中で取り組むべきことは、競争相手や上司、部下の人間関係に止まらず、環境との戦いをどうするか、変化をどう対処していくか、これらにどうチャレンジして目的を達するかです。皆さんの目的は何ですか？

九二年は遡年で、その格言に「見える、言わざる……」とあります、何も言わないことは言ふのがOKと言つことにまでなつた。つまり、低減抑制を目指す我々の意図とほんと大きくかけ離れていく事も大切なことで

稼動体制は休日出勤者の増加による福利厚生活動を拡充し、組合員のライフスタイルの中に浸透させていく事も大切なことで

年未になるとの一年を振り返り、新年になると迎える一年は、今年もまた多難な年を迎えることになるわけですが、組合員が一丸となって、この荒波を乗り越えていきたいと思っております。

確かに変化しておられ、その早さは近年早くなりつつある。新労働組合とのネットワークをつくり、より強力な連合体として本年も躍進することを期待したい。（服部記）

ちるかと言えば休日につながる日のほうが記憶の中では上位を占めるのは、働ききの日本人となってしまっているのかもしない。個人によってその価値観は多少異なっても、健康ほど大切なものはないとと思うが、健

康であればあるほどそのことを忘れてしまい、「病気になつて何を知る」ではどうしようもない。

組合活動もそれに似て、可もなく不可も無いとの意識では存続は無に等しい物となる。

一九九二年は昨年より変化の激しい時代となるかもしれない。すべてが順調に進んでいるときに「そうでなくなったら」という逆説のことは余り考えたことがないかもしれないが、又その逆の場合においても不調な情勢続きがなかなか好転しないと考えてしまふと、共に好機を逃してしまうこととなる。変化を感じる、すなわち先を見る（読む）すべての事項についてある。

我々組合員がそれぞれの仕事の中で取り組むべきことは、競

相手や上司、部下の人間関係に止まらず、環境との戦いをどうするか、変化をどう対処していくか、これらにどうチャレンジして目的を達するかです。皆

さんの目的は何ですか？

九二年は遡年で、その格言に「見える、言わざる……」とあ

りますが、何も言わないことは言ふのがOKと言つことにまでなつた。これまでに組合発展に努

めています。頭は物を考え、口

はその考えを伝える変化に対応する手段もあります。ゆど

りある生活を、金團の組合員と

共に考えていくことはあります。

「行く年」とか「年送り」毎

年未になるとの一年を振り

返り、新年になると迎える一年

はその早さに敏感に対処できる

計をたてる。その中でなにか

未達成のことにも再度チャレンジ

する。組合活動もその繰り返し

で三十年を迎えるが労働環境は

確かに変化しておられ、その早さ

は近年早くなりつつある。新労

働組合とのネットワークを

つくり、より強力な連合体とし

て本年も躍進することを期待し

たい。（服部記）

聞かれるようになって久しくな

りますが、組織率の低下など各

セントーに働く私達にとって

このような状況の中で、血液

センターや労働環境は、今年もまた多難な年を迎

ることになります。また、三原則に纏

はその考えを伝える変化に対応

された中での四週六休は、採血に

帯感が生まれ育つていき、組合

員が一丸となって、この荒波を

乗り越えていきたいと思ってお

ります。

最後に、今年は「問題は起

ります。頭は物を考え、口

はその考えを伝える変化に対応

された中での四週六休は、採血に

帯感が生まれ育つていき、組合

員が一丸となって、この荒波を

乗り越えていきたいと思ってお

ります。

最後に、今年は「問題は起

ります。頭は物を考え、口

はその考えを伝える変化に対応

された中での四週六休は、採血に

帯感が生まれ育つていき、組合

員が一丸となって、この荒波を

乗り越えていきたいと思ってお

ります。

最後に、年始にあたり、

末文になりましたが、平成四

年が赤新労によって栄えある

飛躍的な年となりますよう祈願

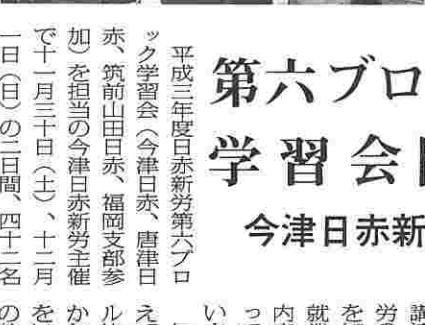
する次第です。

北から  
南から

## 組合結成三十周年

## 記念式典を開催

## 鳥取日赤職組

ボーリング大会開催  
芳賀日赤職組第六ブロック学習会開催  
今津日赤新労組

賞品も一位CDプレーヤー、  
二位スマートフォン、三位  
位ペアウォッチ、六十五位ハンデ  
カラオケなど豪華賞品をもれなく贈り、ダブル以上を出すごとに先着二十個の特別賞も用意しました。

初めての大会でしたが、大いに親睦をはかれた二時間半でした。尚、チャリティとして二十万円余が集まり、貢献大

セントーに寄付させていただき

ました。

十一月二十日、組合チャリテ

ー博覧会を行ないました。

緊急オペなども入り予定よ

り減ってしまいましたが、六十

レーンとも拍手あり、歓声あり

ました。

六時までサンドイッチを食べ

ながら待機。六時から五分間の腕を競い合い、対戦表によ

り二人のところや、五人のところ

で過去の組合活動や今後の

外を問わず激動が予想されます

が、皆様と心を一つにして乗り

切りたいと願っております。

さて、組合員の皆さん、新年おめでとうございます。今年も国内

で、組合員の皆さんが、年次記念式典が、鳥取市芙蓉第

一ホテルに於て青山中央執行委

員長をはじめとする多数の来賓

が、皆様と心を一つにして乗り

切りたいと願っております。

さて、組合員の皆さん、新年おめでとうございます。今年も国内

で、組合員の皆さんが、年次記念式典が、鳥取市芙蓉第

一ホテルに於て青山中央執行委

員長をはじめとする